

# 新井中央小だより

No. 283

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>メールアドレス [chuou@ac.city.myoko.niigata.jp](mailto:chuou@ac.city.myoko.niigata.jp)

2023 (令和5) 年5月29日

## 「魔法の言葉」

「春の全国交通安全運動」及び「ALL 妙高あいさつ運動」期間中には、交通安全やあいさつにかかわって、本当にたくさんの地域・保護者の皆様から見守りをいただき、誠にありがとうございました。また、日々、見守りをしてくださっている皆様、いつも本当にありがとうございます。

新井中央小の子供たちの様子を見守っていただく中で、いろいろとお感じになられたこともあったことと思います。例えばある方は、「みんな元気にあいさつを返してくれました！」と笑顔でお話してくださいましたし、別の方からは、「あいさつのできない子が多くて、心配になりました。」という声もお寄せいただきました。大きな声の元気なあいさつも、声は小さいけれど相手意識をしっかり感じさせる視線やお辞儀、止まってくれた車への会釈にも、それぞれその子らしさが表れて、私はほほえましく感じていましたが、改めて、将来的に明るく心のこもったあいさつやお礼のできる人になってほしい、という思いも強くしました。

ベネッセ教育総合研究所が1997・2003・2008年の3回にわたって調査した「子育て生活基本調査(幼児版)」によれば、家庭でのしつけや教育方針で重視していることに「基本的なあいさつやお礼ができる」と答えた保護者が、いずれの調査年でも9割近くと、飛びぬけて高い数値になっていました。この傾向が、現在も変わらないとは断ぜられませんし、あいさつやお礼について「教える・させる」ことに違和感をもたれる方も多いこととは思います。ただ、周囲の善意や親切に気づき、感謝できる人に育ってほしい、という思いは、皆さん変わらないのではないのでしょうか。

そこで5月の全校集会では、自分たちが地域の皆さんから、あいさつしてもらったり、安全のために見守ってもらったり、急いでいても車を止めて通して下さったりと、日々していただいていることを、当たり前だと感じる・何も感じない・気づきもしなかったという人もいるかもしれないが、これはとても「ありがたいこと」であること。だから地域の方にも進んで元気なあいさつをしたり、たまには「いつもありがとうございます」と伝えたり、止まってくれた車に会釈をしたり、そういう今までなんとなく「当たり前」だと思っていた地域の方の優しさや思いやりに気づき、「ありがとう」の気持ちを表せる、新井中央小の皆さんであってほしい、という話をしました。それはきっと、日々の家族からしてもらっていること、落とした消しゴムを拾ってくれた友達の何気ない親切への気づきにもつながるはずです。

「ありがとう」という言葉は、言われてもうれしいし、言った自分もなぜか幸せになれる「魔法の言葉」と聞いたことがあります。新井中央小の大切な合言葉「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」の学校づくりを目指す中で、特に大切な言葉の一つだと思っています。

是非、家庭・地域・学校それぞれで、私たち大人が日常的に範を示し、機をとらえて教える場面をつくり、なにより子どもがあいさつやお礼が「できた」ことを見逃さず、認めて褒めていくことを大切にしていければ、と思います。

(校長 村治 隆夫)